

第 3 回 島根県道路メンテナンス会議

○日 時：平成 27 年 1 月 8 日（木）
14：30～16：30
○場 所：松江国道事務所 3 階大会議室
（松江市西津田 2 丁目 6 番 28 号）

議事次第

1. 開会

2. あいさつ（松江国道事務所長）

3. 議事

- (1) 道路橋等（法定点検）5 カ年点検計画の策定について
- (2) 島根県跨道橋連絡会議（仮称）の設置について
- (3) その他

（休 憩）

4. 連絡調整

5. 閉会

第3回 島根県道路メンテナンス会議 出席者名簿

	所 属	役 職	氏 名	代理出席者	
				役 職	氏 名
会長	国土交通省中国地方整備局	松江国道事務所長	新田 恭士		
副会長	国土交通省中国地方整備局	浜田河川国道事務所長	松本 治男		
	国土交通省中国地方整備局	三次河川国道事務所長	－	副所長	田中 敏彦
副会長	島根県土木部道路維持課	道路維持課長	山崎 泰助		
	島根県土木部技術管理課	長寿命化推進室長	境 英治		
副会長	西日本高速道路株式会社中国支社	松江高速道路事務所長	山根 潤二		
	西日本高速道路株式会社中国支社	千代田高速道路事務所長	－	副所長	金尾 剣一
	松江市	都市整備部長	石橋 修二		
	浜田市	建設部長	－	維持管理課長	岡本 英二
	出雲市	都市建設部長	－	課長	長見 康弘
	益田市	建設部長	河野 昌之		
	大田市	建設部長	田中 功		
	安来市	基盤整備部長	作野 立生	(随行)主査	長谷川信夫
	江津市	建設部長	二上 拓也		
	雲南市	建設部長	－	次長	森田 一
	奥出雲町	建設課長	松島 昭雄	(随行)課長補佐	永瀬克己
	飯南町	建設課長	那須 忠巳	(随行)主任主事	信藤 晃
	川本町	地域整備課長	森川 和友		
	美郷町	建設課長	赤穴 清		
	邑南町	建設課長	土崎 由文		
	津和野町	建設課長	田村 津与志		
	吉賀町	建設水道課長	光長 勉		
	海士町	環境整備課長	－	主査	宇野 伸二
	西ノ島町	環境整備課長	中板 健		
	知夫村	建設課長	－	係長	古谷 光教
	隠岐の島町	建設課長	－	課長補佐	田中 文男
	公益財団法人島根県建設技術センター	理事長	宮川 治	(随行)課長	仙田 敦志
オブザーバ	国土交通省中国地方整備局 道路部	地域道路調整官	高橋 利彰		
	国土交通省中国地方整備局 道路部	道路保全企画官	大久保 雅憲		
事務局	国土交通省中国地方整備局 松江国道事務所		大原 英雄		
			甲田 展文		
			前田 孝弘		
			八幡 澄夫		
	島根県土木部 道路維持課		池森 徹		
			野坂 啓二		
			千葉 正徳		
			飯塚 拓英		
	島根県土木部 技術管理課 長寿命化推進室		秋月 晃一		
	西日本高速道路株式会社中国支社 松江高速道路事務所 統括課		中畦 耕史		
			原 昌信		

第3回 島根県道路メンテナンス会議 【配席表】

西日本高速道路（株）中国支社
千代田高速道路事務所長
西日本高速道路（株）中国支社
松江高速道路事務所長
島根県土木部技術管理課
長寿命化推進室長
島根県土木部道路維持課長
国土交通省中国地方整備局
松江国道事務所長
国土交通省中国地方整備局
浜田河川国道事務所長
国土交通省中国地方整備局
三次河川国道事務所長
国土交通省中国地方整備局
道路部地域道路調整官
国土交通省中国地方整備局
道路部道路保全企画官

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

松江市 ○
浜田市 ○
出雲市 ○
益田市 ○
大田市 ○
安来市 ○
江津市 ○
雲南市 ○
奥出雲町 ○

○ 公益財団法人
島根県建設技術センター
○ 飯南町
○ 川本町
○ 美郷町
○ 邑南町
○ 津和野町
○ 吉賀町
○ 海士町
○ 西ノ島町

事務局

知夫村
隠岐の島町

記者席

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

道路橋等五力年点検計画（案）

■島根県内 道路橋点検計画数

道路管理者	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計
国土交通省	67	76	95	141	110	489
西日本高速道路(株)	57	30	1	18	12	118
島根県	100	1042	513	512	493	2660
島根県内市町村	99	2514	2762	2821	2914	11110
松江市	40	294	283	279	299	1195
浜田市	1	226	205	207	320	959
出雲市	3	636	635	634	635	2543
益田市	2	162	158	164	174	660
大田市	2	152	165	176	182	677
安来市	10	238	238	237	238	961
江津市	2	53	91	83	88	317
雲南市	2	200	300	334	200	1036
奥出雲町	3	125	121	121	114	484
飯南町	1	20	54	55	80	210
川本町	1	31	31	31	34	128
美郷町	2	10	66	96	84	258
邑南町	1	140	127	128	138	534
津和野町	2	0	77	87	142	308
吉賀町	16	101	41	60	54	272
海士町	2	5	15	15	15	52
西ノ島町	3	2	36	0	0	41
知夫村	4	16	5	8	0	33
隠岐の島町	2	103	114	106	117	442
島根県内合計	323	3662	3371	3492	3529	14377

注1) 数値は変動の可能性があります

(H27. 1. 8現在)

注2) 一部機関において、今後、溝橋(ボックスカルバート)の点検計画数を追加する場合があります。

注3) 今後の予算や関係者との協議により変更する場合があります。

■島根県内 トンネル点検計画数

道路管理者	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計
国土交通省	17	22	2	4	14	59
西日本高速道路(株)	17	7	0	0	6	30
島根県	33	2	45	44	58	182
島根県内市町村	1	9	12	14	26	62
松江市	0	5	0	0	6	11
浜田市	0	0	0	0	4	4
出雲市	1	1	2	2	2	8
益田市	0	0	0	0	3	3
大田市	0	0	0	3	3	6
安来市	0	0	0	0	0	0
江津市	0	0	0	0	0	0
雲南市	0	0	0	0	2	2
奥出雲町	0	0	1	0	0	1
飯南町	0	0	0	0	1	1
川本町	0	0	0	0	0	0
美郷町	0	0	0	0	0	0
邑南町	0	0	1	0	1	2
津和野町	0	1	0	0	2	3
吉賀町	0	1	0	0	1	2
海士町	0	0	0	0	0	0
西ノ島町	0	0	0	0	0	0
知夫村	0	1	0	0	0	1
隠岐の島町	0	0	8	9	1	18
島根県内合計	68	40	59	62	104	333

注1) 数値は変動の可能性があります

(H27. 1. 8現在)

注2) 今後の予算や関係者との協議により変更する場合があります。

■島根県内 横断歩道橋点検計画数

道路管理者	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計
国土交通省	0	0	0	6	38	44
西日本高速道路(株)	0	0	0	0	0	0
島根県	0	7	0	0	0	7
島根県内市町村	1	1	0	0	0	2
松江市	0	0	0	0	0	0
浜田市	0	0	0	0	0	0
出雲市	1	1	0	0	0	2
益田市	0	0	0	0	0	0
大田市	0	0	0	0	0	0
安来市	0	0	0	0	0	0
江津市	0	0	0	0	0	0
雲南市	0	0	0	0	0	0
奥出雲町	0	0	0	0	0	0
飯南町	0	0	0	0	0	0
川本町	0	0	0	0	0	0
美郷町	0	0	0	0	0	0
邑南町	0	0	0	0	0	0
津和野町	0	0	0	0	0	0
吉賀町	0	0	0	0	0	0
海士町	0	0	0	0	0	0
西ノ島町	0	0	0	0	0	0
知夫村	0	0	0	0	0	0
隠岐の島町	0	0	0	0	0	0
島根県内合計	1	8	0	6	38	53

注1) 数値は変動の可能性があります

(H27. 1. 8現在)

注2) 今後の予算や関係者との協議により変更する場合があります。

■島根県内 シェッド点検計画数

道路管理者	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計
国土交通省	0	0	6	0	0	6
西日本高速道路(株)	0	0	0	0	0	0
島根県	8	2	14	13	11	48
島根県内市町村	0	0	2	0	0	2
松江市	0	0	0	0	0	0
浜田市	0	0	0	0	0	0
出雲市	0	0	2	0	0	2
益田市	0	0	0	0	0	0
大田市	0	0	0	0	0	0
安来市	0	0	0	0	0	0
江津市	0	0	0	0	0	0
雲南市	0	0	0	0	0	0
奥出雲町	0	0	0	0	0	0
飯南町	0	0	0	0	0	0
川本町	0	0	0	0	0	0
美郷町	0	0	0	0	0	0
邑南町	0	0	0	0	0	0
津和野町	0	0	0	0	0	0
吉賀町	0	0	0	0	0	0
海士町	0	0	0	0	0	0
西ノ島町	0	0	0	0	0	0
知夫村	0	0	0	0	0	0
隠岐の島町	0	0	0	0	0	0
島根県内合計	8	2	22	13	11	56

注1) 数値は変動の可能性があります

(H27. 1. 8現在)

注2) 今後の予算や関係者との協議により変更する場合があります。

■島根県内 大型カルバート等点検計画数

道路管理者	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計
国土交通省	0	0	6	5	34	45
西日本高速道路(株)	16	4	0	3	0	23
島根県	1	7	4	1	1	14
島根県内市町村	0	0	0	0	1	1
松江市	0	0	0	0	0	0
浜田市	0	0	0	0	0	0
出雲市	0	0	0	0	0	0
益田市	0	0	0	0	1	1
大田市	0	0	0	0	0	0
安来市	0	0	0	0	0	0
江津市	0	0	0	0	0	0
雲南市	0	0	0	0	0	0
奥出雲町	0	0	0	0	0	0
飯南町	0	0	0	0	0	0
川本町	0	0	0	0	0	0
美郷町	0	0	0	0	0	0
邑南町	0	0	0	0	0	0
津和野町	0	0	0	0	0	0
吉賀町	0	0	0	0	0	0
海士町	0	0	0	0	0	0
西ノ島町	0	0	0	0	0	0
知夫村	0	0	0	0	0	0
隠岐の島町	0	0	0	0	0	0
島根県内合計	17	11	10	9	36	83

注1) 数値は変動の可能性があります

(H27. 1. 8現在)

注2) 今後の予算や関係者との協議により変更する場合があります。

■島根県内 門型標識等点検計画数

道路管理者	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計
国土交通省	0	8	30	25	19	82
西日本高速道路(株)	5	13	1	0	11	30
島根県	0	0	6	12	18	36
島根県内市町村	0	1	1	0	0	2
松江市	0	0	0	0	0	0
浜田市	0	0	1	0	0	1
出雲市	0	1	0	0	0	1
益田市	0	0	0	0	0	0
大田市	0	0	0	0	0	0
安来市	0	0	0	0	0	0
江津市	0	0	0	0	0	0
雲南市	0	0	0	0	0	0
奥出雲町	0	0	0	0	0	0
飯南町	0	0	0	0	0	0
川本町	0	0	0	0	0	0
美郷町	0	0	0	0	0	0
邑南町	0	0	0	0	0	0
津和野町	0	0	0	0	0	0
吉賀町	0	0	0	0	0	0
海士町	0	0	0	0	0	0
西ノ島町	0	0	0	0	0	0
知夫村	0	0	0	0	0	0
隠岐の島町	0	0	0	0	0	0
島根県内合計	5	22	38	37	48	150

注1) 数値は変動の可能性があります

(H27. 1. 8現在)

注2) 今後の予算や関係者との協議により変更する場合があります。

社会資本のメンテナンス情報に関する3つのミッションとその推進策（案）概要

3つのミッション

- ・国や地方公共団体等は、今後、「現場のための正確な情報の把握・蓄積」「国民等の理解と支援を得るための情報の見える化」「メンテナンスサイクルを着実に回すための情報の共有化」の、社会資本のメンテナンス情報に関わる3つのミッションを推進
- ・特に重要な情報については、施設の点検が一巡する最初の5年間に、国・都道府県・市町村等の全ての施設管理者が協力的に確実に施策を実施

ミッション(1) 現場のための正確な情報の把握・蓄積

意義

○現場における施設の維持管理の実施、施設の健全な状態の維持 ○科学的かつ合理的な社会資本のメンテナンスの実現

留意事項

・職員の負担 ・費用の増加
・市町村等の人員不足

①施設台帳等の確実な整備

- ・施設台帳等の整備・更新を確実に実施
- ・施設の点検結果、健全性の評価等の情報について施設台帳等に記録(標準書式の整備)

②点検結果等の記録の徹底

- ・点検結果等の正確な記録の徹底
- ・維持管理情報の充実・蓄積

③データ入力様式の標準化

- ・標準様式の作成など施設分野ごとにデータ入力の省力化・標準化を推進
- ・点検業者等による点検結果の入力等を推進

④社会資本情報の集約化・電子化

- ・維持管理に関する情報を集約しデータベースを作成、二次利用可能な形式で電子化

⑤社会資本情報プラットフォームの構築

- ・各分野のデータベースから必要な基本情報や維持管理情報を収集・集計整理し、横並びで閲覧・検索

ミッション(2) 国民等の理解と支援を得るための情報の見える化

国民等

意義

○社会資本の現状・課題等の周知、国民等の支持・支援
○健全性が著しく低い施設、対応措置等の情報提供、事故・災害リスクの低減
○施設の転用・統廃合、費用負担等への理解・協力
○施設の適正利用の促進
○施設点検等への自主参加の促進
○行政の取組状況の確認、住民との信頼構築

留意事項

・テロや犯罪などを誘発する可能性のある情報の選別

情報公開・理解促進

①施設の健全性等の集計情報の公表

- ・健全性等の現状を施設分野ごとに公表
- ・国・地方公共団体等別にわかりやすく公表
(点検実施率、健全性の評価別施設割合、要対策老朽施設化リスト など)
- ・学術団体等による評価の取り組みへの協力

②個別施設の点検結果等の公表

- ・施設名、所在地、建設年度 など
- ・点検実施年度(最新)、健全性の評価 など

③維持管理情報ポータルサイトの開設

- ・国、地方公共団体等の様々な情報を公表
(施設の転用・統廃合、劣化・崩落事例 など)

④地域住民との協働点検等の実施

- ・地域住民との協働点検、美化活動等の実施
- ・地域住民からの提供情報の受取体制構築

ミッション(3) メンテナンスサイクルを着実に回すための情報の共有化

国・地方公共団体等

意義

■国や地方公共団体等の施設管理者
○維持管理レベルの確認(自己診断の実施)
○目標設定、達成状況
○職員等のスキルアップ
○危機意識を促す
■指導的役割を担う国や都道府県
○点検状況等のモニタリング
○市町村への助言・指導
○戦略的マネジメントの推進
○市町村支援への活用

留意事項

・記載方法等の統一化
・システム間の連携 など

メンテナンスの確実な実施

①施設情報の階層化

- ・国が全施設共有化すべき重要情報
- ・施設管理者が取得すべき情報

②進捗状況・管理指標の共有

- ・全国的な傾向・ベンチマーク分析

③最新の技術関連情報の共有

- ・技術開発の状況
- ・維持管理研修等の実施状況 など

④メンテナンスに関する会議の設置・活用

- ・施設管理者がデータ共有・進捗管理

⑤施設の設計・施工等の情報との連携

- ・新設時の情報との連携(CIMなど)

民間企業・大学等の研究機関

意義

○効率的なメンテナンスの実現
○メンテナンス技術の高度化
○民間主導による研究技術開発促進
○メンテナンス産業発展への貢献

研究・技術開発促進

⑥研究・技術開発と連携したデータの公開

- ・研究・技術開発に有用なデータの公開
- ・公開可能な情報のデータタグを作成
- ・目的等の明確化、結果のフィードバック

⑦相談窓口の設置

- ・研究・技術開発に資するデータ提供に関する相談窓口を設置

留意事項

・データ流出(テロ・犯罪等)
・損害賠償への対応 など

施策の実現に向け併せて実施すべき事項

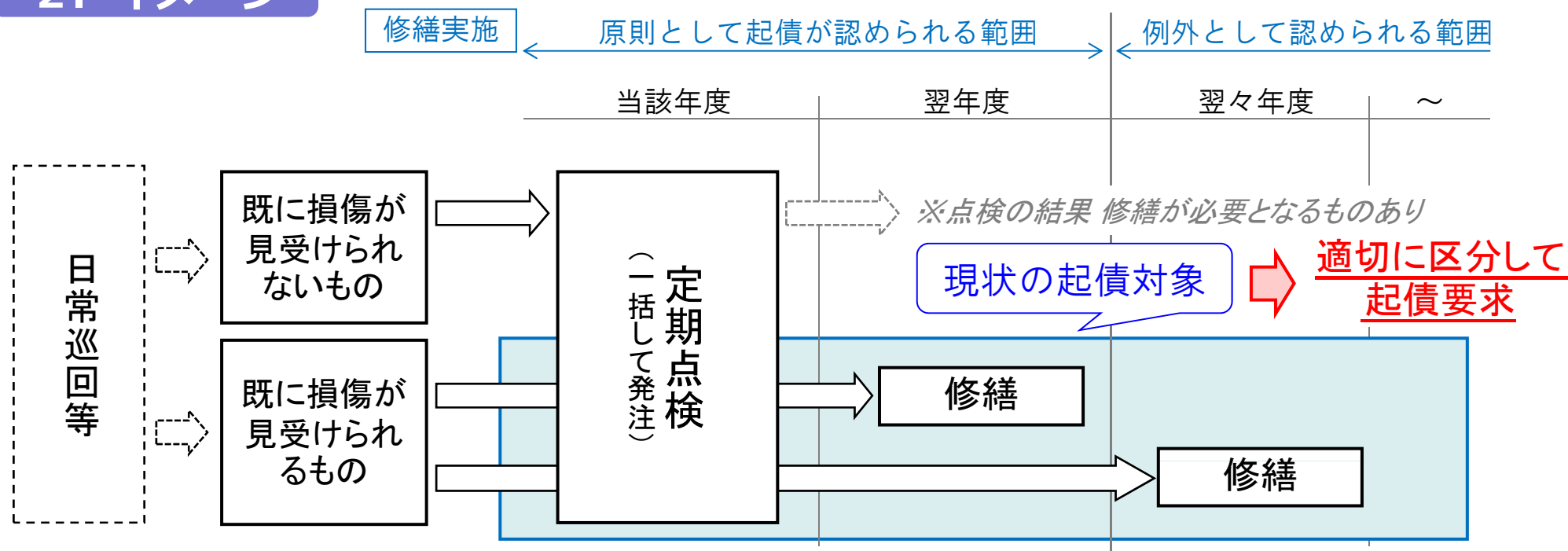
- ①国・都道府県等による市町村支援の実施
- ②取り組み状況等の見える化
- ③インフラメンテナンス国民会議(仮称)の設置
- ④インフラメンテナンスに関する表彰制度の創設

アクセス制限無し

施設管理者に限りアクセス可

特定の研究者に限りデータ提供

○定期点検に係る地方債の取扱いについては、平成26年3月31日事務連絡「道路の点検等にかかる地方債の取扱いについて（補足）」の記1，2に該当する地方債の対象となる点検等と、地方債の対象とならない点検等を一括して発注する場合であっても、地方債の対象となる点検等について適切に区分した上で起債要求することが可能



島根県跨道橋連絡会議（仮称）について

<会議の位置付け>

- 道路メンテナンス会議の下部組織として設置
（事務局：各都道府県の道路メンテナンス会議とりまとめの国道事務所）

<対象施設>

- 全ての高速道路、直轄国道、公社道路及び一部（※）の補助国道、都道府県道、市町村道を跨ぐ施設のうち、鉄道橋を除く道路法上の道路以外の施設（農道、林道、認定外道路、私道、水管橋等）
- ※補助国道、都道府県道、市町村道については、「緊急輸送道路」に指定されている道路を対象

<メンバー>

- 上記、「対象施設」の管理者及び関係する道路管理者

<依頼事項>

- 跨道橋の占用許可者として、跨道橋の施設管理者に以下の依頼 等
 - ・ 対象施設について、省令に準じ点検・診断を定期的実施
 - ・ 点検計画を策定
 - ・ 点検・診断結果について、道路管理者に報告
 - ・ 診断結果が「速やかな修繕が必要」な場合は、速やかに修繕工事を実施

<スケジュール>

- 第3回島根県道路メンテナンス会議において、同会議の設置を決定
- H26年度内に、「第一回跨道橋連絡会議（仮称）」を開催し、その後適宜開催

島根県跨道橋連絡会議規約（案）

（名 称）

第1条 本連絡会議は、「島根県跨道橋連絡会議」（以下「連絡会議」という。）と称する。

（目 的）

第2条 連絡会議は、島根県道路メンテナンス会議規約第4条第4項に規定の「専門部会」に位置付けるものとし、島根県内における次条に規定する対象施設について、対象施設の管理者及び関係する道路管理者間で協議・調整を行うことにより、対象施設の予防保全・老朽化対策の強化等を図ることを目的とする。

（対象施設）

第3条 対象施設は、島根県内の高速道路、直轄国道及び地方道路公社道路の全ての道路並びに補助国道、県道及び市町(村)道のうち「緊急輸送道路」に指定されている道路を跨ぐ道路法上の道路以外の施設（ただし、鉄道橋を除く。）とする。

（協議・調整事項）

第4条 連絡会議は、その目的を達成するため、対象施設に係る次の事項について、情報共有及び協議・調整を行う。

- 一 対象施設の維持管理等に係る情報共有に関すること。
- 二 対象施設の点検、修繕計画等の把握・調整に関すること。
- 三 対象施設の技術基準類、健全性の診断、技術的支援等に関すること。
- 四 その他対象施設の管理に関連し、会長が必要と認めた事項に関すること。

（構 成）

第5条 連絡会議は、別表に掲げる、対象施設の管理者及び関係する道路管理者でもって構成する。

- 2 連絡会議には、会長及び副会長3名を置くものとし、会長は国土交通省中国地方整備局松江国道事務所長、副会長は島根県維持管理課長及び西日本高速道路株式会社中国支社松江高速道路事務所長とする。
- 3 会長に事故等あるときは、副会長がその職務を代行する。

（会議の運営）

第6条 連絡会議は、必要に応じて会長が招集し、運営する。

- 2 連絡会議には、必要に応じて、会長が指名する者の出席を求めることができる。

（事務局）

第7条 連絡会議の事務局は、国土交通省中国地方整備局松江国道事務所管理第2課、島根県道路維持課及び西日本高速道路株式会社中国支社松江高速道路事務所統括課に置く。

（その他）

第8条 この規約に定めるもののほか必要な事項は、その都度協議して定める。

（附 則）

この規約は、平成27年〇月〇〇日から施行する。

(別表)

島根県跨道橋連絡会議 名簿（案）

	所 属	役 職	備考
会 長	国土交通省中国地方整備局	松江国道事務所長	道路管理者
副会長	国土交通省中国地方整備局	浜田河川国道事務所長	道路管理者
副会長	島根県土木部維持管理課	維持管理課長	道路管理者
副会長	西日本高速道路株式会社中国支社	松江高速道路事務所長	道路管理者
	〇〇市	〇〇局 〇〇課長	道路管理者
	〇〇市	〇〇局 〇〇課長	対象施設の 管理者

現在調整中

事務局	国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所 管理第二課 島根県土木部維持管理課 西日本高速道路株式会社中国支社 松江高速道路事務所 統括課
-----	---

オブザーバー	国土交通省 中国地方整備局	道路部 地域道路課長 道路部 道路構造保全官
--------	---------------	---------------------------

技術支援の取組状況について

資料－6

	平成26年度										
	橋梁管理実務者 (一)研修 二期	橋梁管理実務者 (一)研修 二期	トンネル管理実 務者(一)研修	橋梁点検講習会 (出雲市)	橋梁点検講習会 (浜田市)	橋梁点検講習会 (西ノ島町)	橋梁点検講習会 (津和野町)	橋梁保全実践講 座(安来市)	トンネル点検講 習会(浜田市)	トンネル点検講 習会(雲南市)	合計
島根県		1		17	14	7	8	11	14	10	82
松江市	2							5			7
安来市		2						3			5
出雲市	1	2	1	3							7
雲南市				3							3
大田市				3				3			6
江津市				5	4				1		10
浜田市					4				1		5
益田市	1				7		6				14
奥出雲町		1		1				1		1	4
川本町					1						1
飯南町				2							2
邑南町	1	1	1					2	3		7
美郷町								1			1
津和野町					1		3				4
吉賀町					1		2				3
隠岐の島町				1		1				1	3
西ノ島町						3					3
海士町						1					1
知夫町						1					1

のべ 169人参加

島根県（安来市） 橋梁保全実践講座

場 所 : 安来市伯太町 伯太中央交流センター

日 時 : 平成26年11月6日(木) 10:00～16:20

対象橋梁 : 焼野橋、千代富橋(管理者:安来市)

参加者 : 県職員 11名、市町村職員 15名、コンサルタント 41名 計 67名



会場の様子



高田教授による現地実習



大屋准教授による現地実習



現地実習の様子

【参加者からの意見・感想】

- ・現場で損傷の様子を見る事で、橋梁の損傷の特徴や原因などについて理解が深まり、とても勉強になったと思います。
- ・全体的に流れを追った説明内容となっており、取りくみやすかった。次回は現地点検と補修設計が、例えば同日にできれば良いと思う。
- ・点検表をくわしく見る機会を設けるような講習も行っていたけると助かります。
- ・安易に調査書を作成しないことについて理解ができた。たまになぜこの橋の補修が必要？といった業務があり不思議であったが、今日の研修で理解ができた。

島根県（出雲市）橋梁点検講習会

場 所 : 出雲市大津町 出雲合同庁舎

日 時 : 平成26年11月19日(水) 10:00～17:00、11月20日(木)9:00～12:00

対象橋梁 : 灘橋(管理者:島根県)

参加者 : 県職員 17名、市町村職員 18名、コンサルタント 42名 計 77名



会場の様子



非破壊検査実習



現地実習(鋼橋の損傷状況)



現地実習(橋脚の状況)

【参加者からの意見・感想】

- ・もっと規模の小さい(橋長の短い、RC床版橋)の場合等も実施して欲しい。
- ・点検時に評価の判断には迷う所が多いが、今回の現地実習は実務に直結しており分かり易い講習であったと考えます。
- ・クラックなど近接目視できたのは、現場を知る上で貴重な体験になった。安心、安全な橋梁保全のため日頃から関わられている方の苦勞が知れました。
- ・現地点検は実際に見ることで、とても勉強になりました。今後も現地点検があればよいと思います。

島根県（西ノ島町）橋梁点検講習会

場 所 : 隠岐郡西ノ島町 隠岐支庁県土整備局島前事業部

日 時 : 平成26年11月21日(金) 10:00～17:00

対象橋梁 : 三度上橋(管理者:西ノ島町)

参加者 : 県職員 7名、市町村職員 6名 計 13名



会場の様子



点検要領の説明



現地実習(損傷状況の確認)



現地実習(全体統括)

【参加者からの意見・感想】

- ・次回から、町村毎に直営点検(数橋程度)を行った結果を持ち寄り診断結果の判断を行う講習会も必要に思います。それによって、各自点検診断への自信を高めることに繋がると思います。
- ・今回、床版橋(床版)について行ったが、次回は下部工についての点検診断を要望したい。
- ・出水期や潮位との兼ね合いもあるが、出来れば年度前半に受講できる機会があれば望ましい。
- ・今回は職員が直営(今後の資格要件等の制約はあるが)でも点検可能な規模の身近な橋梁で現地実習が行われ、非常に有意義な講習会であった。

島根県（浜田市）橋梁講習会

場 所 : 浜田市片庭町 浜田同号庁舎

日 時 : 平成26年12月8日(月) 10:00～17:00

対象橋梁 : 下府橋、黒淵橋(管理者:島根県)

参加者 : 国職員 11名 県職員 14名、市町村職員 18名 コンサル 27名
計 70名



講義会場の様子



点検のポイントの説明



現地実習(損傷状況の確認)



現地実習(全体統括)

【参加者からの意見・感想】

- ・今後の受注者との協議に大いに活かせる経験になった。
- ・担当者によって判断が分かれないう、判断基準の明確化、研修、資格制度の充実を図って欲しい。
- ・実務に直結しており、助かりました。
- ・補修設計についても実施してほしい。

島根県（津和野町） 橋梁講習会

場 所 : 鹿足郡津和野町 津和野町役場本庁舎
日 時 : 平成26年12月9日(火) 10:00～15:00
対象橋梁 : 岩川橋(管理者:津和野町)
参加者 : 県職員 8名、市町村職員 11名 計 19名



講義会場の様子



橋梁保全全般の説明



現地実習(損傷状況の確認)



現地実習(損傷状況の確認)

【参加者からの意見・感想】

- ・今後の業務に直接役立つと思います、ありがとうございました。
- ・時間の制限はあると思いますが、複数の橋梁を見られると更により講習会になると思います。
- ・補修工法も加えた説明にしてほしい。
- ・現地実習をもっと増やして欲しい。
- ・担当者の移動もあるので毎年実施してほしい。

トンネル点検講習会（東部地区）

場 所 : 雲南市木次町 雲南合同庁舎

日 時 : 平成26年12月5日(金) 13:30～16:00

対象橋梁 : 三刀屋トンネル・上り(管理者:国土交通省)

参加者 : 国職員 6名、県職員 10名 市町村職員 2名 計 18名



現地での状況説明



現地状況確認(トンネル頂部)



現地状況確認(トンネル側壁部)

【参加者からの意見・感想】

- ・今後も積極的に現地へ足を運ぶ実習を増やして欲しい。
- ・進行性ひび割れに関する説明が欲しい。
- ・実作業を体験出来てよかった。
- ・点検結果の判断に対する点について少し分かりました。
- ・わかりやすい講習であった。

トンネル点検講習会（西部地区）

場 所 : 浜田市片庭町 浜田同号庁舎

日 時 : 平成26年12月24日(水) 13:30～16:30

対象橋梁 : 吉地第1トンネル(浜田・三隅道路:国土交通省)

参加者 : 国職員 7名、県職員 14名 市町村職員 5名 計 26名



座学



現地状況確認(トンネル頂部)



現地状況確認(トンネル側壁部)

【参加者からの意見・感想】

- ・点検前に調査しておく項目も教えて欲しい。
- ・もう少し詳しく聞きたかった。
- ・現地点検はためなりよかった。
- ・NATM工法と在来工法の両方のトンネルで現地研修をして見たかった。

橋梁管理実務者研修（Ⅰ期・Ⅱ期）

中国技術NEWS2014.12.3
Vol.55(通算Vol.378)

橋梁管理実務者Ⅰ(Ⅰ期)研修が開催されました！

本研修は自治体支援の一環として、今年度から新たに取り入れられた研修です

地方自治体及び整備局の職員24名(内、整備局職員2名)に対し、今後、急速に老朽化が進む社会資本ストックの健全な維持管理を行うため、橋梁等の維持管理に必要な知識と実務的な点検・修理の技能を修得することを目的として、11月10日～14日の5日間の日程で研修が行われました。

講義 ～国交省道路局、国総研等が監修、取りまとめた全国統一テキストを使用～

道路橋のマネジメント

点検の現場実習 ～損傷の確認と健全性の診断～

鋼橋(海田新橋)

橋断歩道橋(海田新橋)

ボッタクリメント(海田町地内)

近接目視、打音検査

鋼板腐食状況及び水みち確認

近接目視、打音検査

点検結果の記録

広島ホームテレビでのニュース放映

＜研修を終えて＞

(研修生の声) → ・点検業務を委託し業者へ指導する際、及び重要点検を実施する際の参考になった。
・実務で書く資料は難しいと思いますが、橋梁点検の基礎知識が理解できたため、とてもいい研修でした。 など

(総括) ・地方自治体の方々の話の中で、張りある予算と人員で今後どのように点検、補修を行っていくかが喫緊の課題となっており、これから職員全体の知識・技術の向上を行ううえで、非常に有用な研修であるという意見が多くあった。また、点検後の補修・修繕工法について学ぶことができればより充実した内容になるという意見もあった。

中国技術NEWS全動の問い合わせ先 中国技術事務局 訪宣・技術課 熊田(788-314)

中国技術NEWS2014.12.26
Vol.65(通算Vol.389)

橋梁管理実務者Ⅰ(Ⅱ期)研修が開催されました！

本研修は自治体支援の一環として、今年度から新たに取り入れられた研修です

地方自治体及び整備局の職員33名(内、整備局職員1名)に対し、今後、急速に老朽化が進む社会資本ストックの健全な維持管理を行うため、橋梁等の維持管理に必要な知識と実務的な点検・修理の技能を修得することを目的として、12月15日～19日の5日間の日程で研修が行われました。

講義 ～国交省道路局、国総研等が監修、取りまとめた全国統一テキストを使用～

点検に関する法令及び技術基準の体系

橋の構造の基本

道路橋をめぐりつつの今日の課題と今後の方針

鋼材の損傷と診断

Co部材の損傷と診断

ボッタクリメント(海田町地内)

近接目視、打音検査

鋼板腐食状況及び水みち確認

点検結果の記録

＜研修を終えて＞

(研修生の声) → ・近接目視が如何に大切かが理解できたように思う。
・今後、行動計画策定や補修点検を基に補修工事を実施する予定であるため有用であった。 など

(総括) ・地方自治体の方々の話の中で、張りある予算と人員で今後どのように点検、補修を行っていくかが喫緊の課題となっており、これから職員全体の知識・技術の向上を行ううえで、非常に有用な研修であるという意見が多くあった。また、実務的な現場実習(点検一歩)は好評であり、もう少し時間を費やしてしっかり学びたいという意見もあった。

中国技術NEWS全動の問い合わせ先 中国技術事務局 訪宣・技術課 熊田(788-314)

トンネル管理実務者Ⅰ研修

中国技術事務所視察

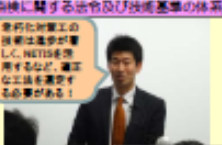
中国技術NEWS 2014.12.15 Vol.58 (通算Vol.382)

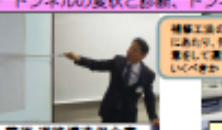
トンネル管理実務者Ⅰ研修が開催されました！

本研修は自治体支援の一環として、今年度から新たに取り入れられた研修です

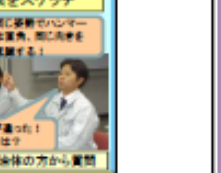
整備局及び地方自治体の職員15名(内、整備局職員10名)に対し、今後、急速に老朽化が進む社会資本ストックの健全な維持管理を行うため、トンネルの維持管理に必要な知識と実践的な点検・診断の技能を修得することを目的として、11月26日～28日の3日間の日程で研修が行われました。

講師 ～国交省道路局、(独)土木研究所が監修、取りまとめた全国統一テキストを使用～

トンネルに関する法令及び技術基準の体系  (独)土木研究所 日下 主任研究員	トンネルの計画・設計 	道路構造物を含める今日の課題と今後の方針  大久保 道路保全企画室
--	---	--

トンネルの変状と診断、トンネルの補修・補強  藤原 道路構造保全室	トンネルの施工  山崎 道路工事課長補佐	トンネル本体工の点検  遠水 道路保全企画係員
---	---	--

点検の現地実習 ～損傷の確認と点検、診断～

国信第一トンネル(国道2号東広島バイパス)  覆工上部を近接目視	向山トンネル(国道54号)  点検ハンマーによる打音点検	 近接、遠望目視による点検	 点検結果をスケッチ
 高所作業車による近接目視	 点検結果の記録	 点検、診断のポイントの説明	 現地点検を終えて質疑応答

<研修主眼点>

(研修生の声) → 維持管理しているトンネルの真実時の対応やコンクリートの設計の確認に役立ちます。
 ・広い視点から詳細な内容まで知識を習得でき、現在抱えている課題に大変有用です。
 ・普段の業務では知り得ない、点検の位置や国の動き(法整備)、具体的な内容はかけがいのないものでした。 など
 (総括) → 地方自治体の方々の間で、誤りある予算と人員で今後どのように点検、補修を行っていくかが大きな課題となっており、これから職員全体の知識・技能の向上を行っていく、非常に貴重な研修であったという意見が多く聞かれました。

*中国技術NEWS*全員の問い合わせ先 中国技術事務所 防災・技術課 桐田(788-314)

中国技術NEWS 2014.12.1 Vol.53 (通算Vol.377)

美郷町議会が 中国技術事務所を視察されました。

11月26日、鳥根県邑智郡美郷町の町議会議員及び町職員(計19名)が、中国技術事務所に来所され、事務所構内の実橋教材、災害対策機械を視察し、構造物の長寿命化及び災害時の支援活動に理解を深めて頂きました。

挨拶の後、座学として、「道路保全を取り巻く最近の話題」について、藤原副所長が説明を行いました。

【座学】中国技術事務所 講堂



挨拶
(藤原副所長)



道路保全を取り巻く
最近の話題
(藤原副所長)



会議の様子

構内視察では、実橋教材による橋梁の老朽化の説明と、災害対策機械を紹介し、防災技術センターの活動状況を説明しました。

【構内視察】実橋教材の説明(総括技術情報管理官)



厚東川大橋



打音検査体験



葛切谷橋



ディスカッションの様子

【構内視察】災害対策機械の説明(山口施工課長・技術活用課長)



排水ポンプ車



照明車



分解組立型バックホウ

ディスカッションでの意見・感想

- ・実際に橋梁をハンマーで叩いて(打音検査)、橋の老朽化が実感できました。
- ・災害対策機械がこんなに整えられているとは、思っていなかった。
- ・市町管理(の橋)は、危機感を持っていなかった。今後、声を大にしていきたいと思います。
- ・美郷町管理の国道・県道・林道の橋梁は約400橋で、50年以上経過した橋梁は、その内78橋ですが、今後の予算確保は、国の支援をよろしく御願いします。

*中国技術NEWS*全員の問い合わせ先 中国技術事務所 防災・技術課 桐田(788-314)

橋梁点検及びインフラ管理の高度化に関する研修会（仮題）

道路法等の改正により、平成26年度から道路管理者は、橋梁、トンネル等の点検を近接目視により5年に1回の頻度で行うこととなりました。島根県でもこれらの道路施設の点検を実施していますが、今後点検数量が大幅に増えるため、いっそうの点検、診断の効率化と精度向上が必要となります。このため、現在実施している点検・診断業務を分析して課題を抽出し、点検・診断を行う際の留意事項を作成しました。また現在、公共土木施設の維持管理システムについても研究を進めており、これらの成果について報告します。

1. 日時 平成27年1月26日（月）13：00～17：00

2. 会場 島根県職員会館2階 多目的ホール

3. 対象 県、市町村職員、建設コンサルタント技術者等

4. 内容

- ①橋梁を取り巻く最近の話題（橋梁調査会）
- ②橋梁点検等に関する情報提供（島根県土木部道路維持課）
- ③橋梁点検・診断に関する留意事項（橋梁調査会）
- ④インフラ老朽化対策に向けた取り組み（島根県土木部長寿命化推進室）
- ⑤東北インフラマネジメントセンターの紹介（東北大学）
- ⑥インフラ管理の高度化に関する研究紹介（東京大学）

島根県道路メンテナンス会議 今後のスケジュール

資料ー7

5月	『第1回道路メンテナンス会議』(5/27) ○内容 ・メンテナンス会議設立 ・規約の確認 ・今後の取組方針 等	【道路メンテナンス会議の取組み】 『第1回道路メンテナンス会議』 ●地域における課題の整理 ・人材育成・技術力向上 ・技術支援 ・人材確保 ・予算確保 ・業務効率化 ・点検修繕優先度
6月	点検要領通知 6/25	
7月	省令施行 7/1 点検歩掛明示 7/22 点検の優先順位の考え方送付 7/24	
8月	『第1回幹事会』(8/20) ○内容 ・地域における課題及び優先的に解決すべき課題の絞り込み ・業務効率化に向けたニーズ調査の実施 ・点検の優先度について	▼ 『第1回道路メンテナンス会議幹事会』 ●優先的に議論していくべき課題について確認 ・人材育成・技術力向上、技術支援、人材確保 ・予算確保 ・業務効率化 ●業務効率化に向けた自治体ニーズ調査 ●新しい点検要領での検証 ●今後の点検計画策定における優先度について確認
9月	市町村ヒアリング(9/24-10/9) ○内容 ・技術力向上に向けた支援メニューやその内容 ・今年度の新点検要領による検証 ・次年度に向けた業務効率化	▼ 『市町村ヒアリング』 ●具体的支援メニューについて確認 ・講習会の実施(時期、回数、場所を考慮) ・診断結果の統一 ●業務効率化に向けた自治体ニーズについて確認 ●新しい点検要領での検証方法について確認
10月	『第2回幹事会』(10/17) ○内容 ・点検計画の策定 ・今後の取組み 『第2回道路メンテナンス会議』(10/23) ○内容 ・規約改正 ・点検計画の策定 ・今後の取組み	▼ 『第2回道路メンテナンス会議』及び『幹事会』 【10月までに】 ●今年度における点検計画について策定 【年末(12月)までに】 ●5カ年点検計画策定 ・年度毎の点検予定数 ・優先点検箇所
11月	■支援メニュー 【研修】～中国地方整備局での取組み～ ・橋梁管理実務者(Ⅰ)研修 (11/10-11/14) ・橋梁管理実務者(Ⅱ)研修 (12/15-12/19) ・トンネル管理実務者(Ⅰ)研修 (11/26-11/28) 【講習会】～メンテナンス会議での取組み～ ・橋梁点検講習会(東部・出雲市) (11/19-11/20) ・橋梁点検講習会(西部・浜田市) (12/8) ・橋梁点検講習会(西ノ島町) (11/21) ・橋梁点検講習会(津和野町) (12/9) ・橋梁保全実践講座(安来市) (11/6) ・トンネル点検講習会(東部・雲南市) (12/5) ・トンネル点検講習会(西部・浜田市) (12/24)	【年度内までに】 ●新点検要領による検証
12月	『第3回幹事会』(12/19) ○内容 ・道路橋等5カ年点検計画策定について ・島根県跨道橋連絡会議(案)の設置について ・次年度の業務効率化について	▼ 『第3回道路メンテナンス会議』及び『幹事会』 ●道路橋等5カ年点検計画策定 ●島根県跨道橋連絡会議(案)の設置
1月	『第3回道路メンテナンス会議』(1/8) ○内容 ・道路橋等5カ年点検計画策定について ・島根県跨道橋連絡会議(案)の設置について	【H27.3月までに】 ●地域課題の把握、解消に向けた取組み ・H26点検結果等のとりまとめ ・点検検証結果の取りまとめ ・H27点検計画及び点検業務等の発注方針確認 ・H27技術支援メニュー策定(講習会、研修等)
2月	■支援メニュー 【勉強会】～メンテナンス会議での取組み～ ・健全度判定会	
3月	『第4回道路メンテナンス会議』 ○内容 ・H26点検結果等の報告、公表 ・H26取組み(技術支援、講習会等)の報告 ・H27点検計画の確認、公表 ・H27取組みスケジュール 等	▼ 『第4回道路メンテナンス会議』及び『幹事会』
4月		
5月		